

ウィンドウコントロールユニット取扱説明書

2005.04.12 版

By (MATSU)

この取扱説明書は、ある程度の電装品取付け経験のある方を対象に作成しています。電装品の取付けや圧着端子の接続などの経験のない方は、それらの知識と経験のある方にご相談ください。

なお、本装置の取り付けにより何らかの被害が生じても補償には応じられません。

1. 特徴及び注意事項

(1) ジャンパースイッチ (図-1 を参照)

ショートピンの入れ方で、オートロック動作(スイッチを押し続けなくても全開/全閉まで作動)を選択します。

左右両方入れると ショートクリックでオートロック。長目に押すと離せば止まる。(カブリオルーフ式)

左だけ入れると ダブルクリックでオートロック。普通に押すと離せば止まる。

右だけ入れると 長押しでオートロック。短く押すと離せば止まる。

～ いずれの場合も、オートロック動作中に反対側のスイッチ(開動作中なら閉スイッチ)を短く押せばそこで停止します。

(注意) の場合は、うっかり押しただけでもロック動作に入るので、小さいお子さんのいる方がこの設定をする場合は、窓から首などを出したままうっかりスイッチを押してしまわないように充分気をつけてあげてください。

(2) 自動停止

全開・全閉時の負荷の増大(電流の増大)を検出してロックを解除するので、動作中に手を挟むなどで引っかかった場合にも自動停止します。但し、挟んだままで戻ったりせず、危ないのは危ないので過信しないように、お子さんなどにはご注意願います。

(3) 配線は、運転席用や右ハンドル車の助手席用及び並行車助手席用は、ドアスイッチのコネクタの差し替えのみです。基板が不調となった場合は、コネクタを元に戻すだけで、純正状態に戻せます。

純正日本仕様左ハンドル車助手席用(AJDR)は、ドア内の配線2本を切断して、ギボシのオスメス2組で中継加工を行うとともに、フロントパネルを外すなどして、ドア内に+IGNとボディアースの2本の線(0.75mm²)を引き込む必要があります。(別途準備願います。)

(4) コネクタの接続は、確実に奥まで差し込み、絶縁チューブで端子全面を覆ってください。むき出し部分がスイッチの端子や基板に触れたりすると動作不良や故障の原因になります。

(5) 何らかの原因で、作動しなくなった場合、一旦停車して、エンジンキーをオフにして(IGN オフ)再度オンにして試してみてください。

2. 取り付け

(1) ドア内装パネルを外す。

T25 のトルクスドライバーでドアハンドルを外す。(ねじ 2 箇所)

T20 のトルクスドライバーでドアポケットを外す。(ねじ 4 箇所)

内装剥がし工具などをドア内装板の前方に差し込んで一気に起こして外す。(前方上下)
(後方は、爪がドアに引っかかるようになっており、無理に引っ張ると爪が折れます。)



内装板を前方にずらしながら取り外す。



(2) 配線を行う。

運転席用，右ハンドル助手席用モデル（ドアスイッチ有，ドアスイッチオート）

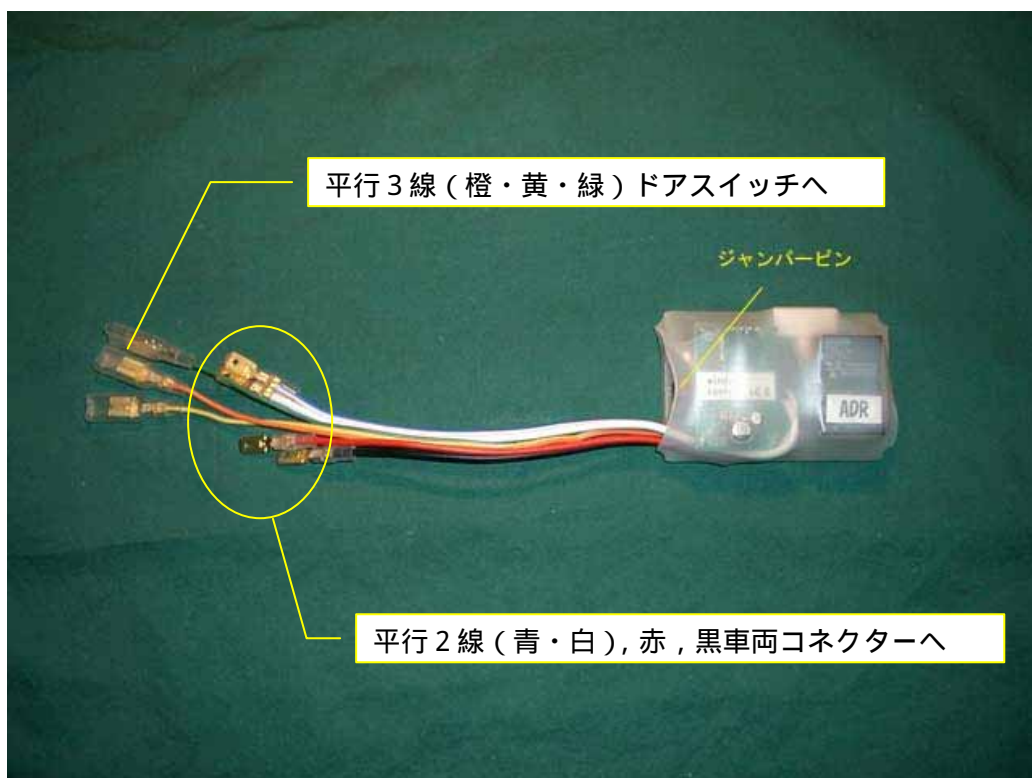
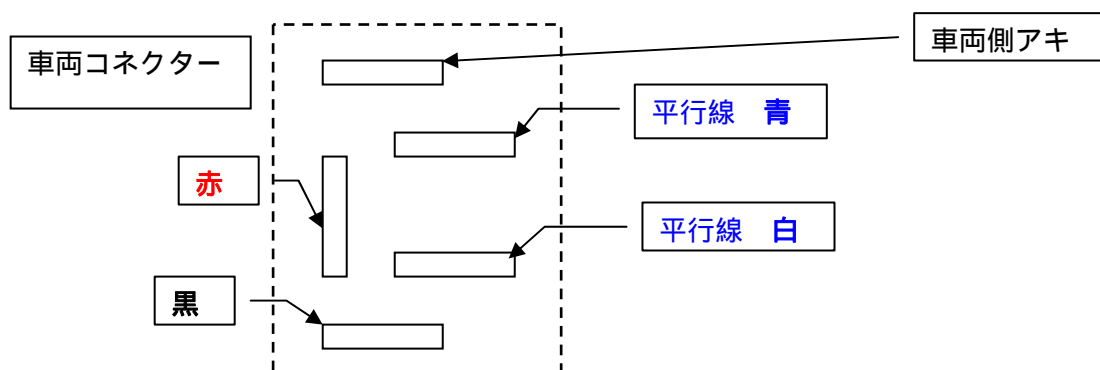
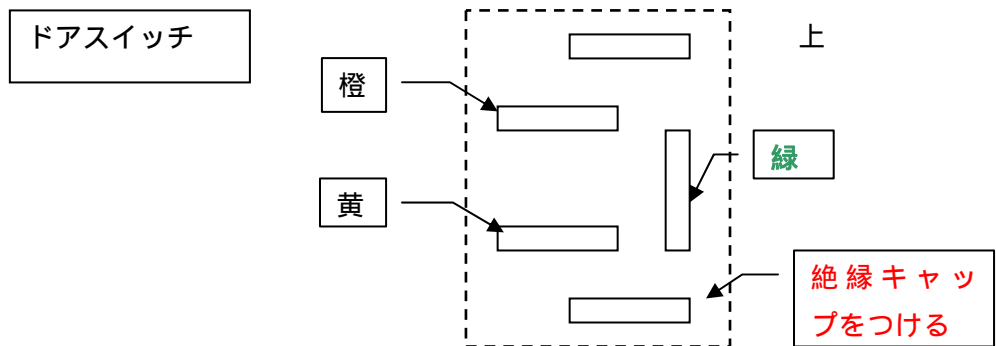


図 1

- (a) ドアスイッチを裏から押し出して，車両コネクターを外す。
- (b) 基板から出ている「赤」「黒」「平行 青白」を車両側コネクターに接続。



(c) ドアスイッチ穴を通して平行3線（橙，黄，緑）をドアスイッチに接続。



- (3) 接続が間違っていないかを再度確認する。
- (4) キースイッチをオンにして動作確認を行う。
- (5) 動作が正常なら、基板裏にスポンジ両面テープを貼ってドアスイッチ下あたりに貼り付けるなどして固定する。このとき、配線の端子どうしが接触しないように、ドア内配線ハーネスなどにタイラップで固定する。
- (6) 動作が不調なら、配線を確認する。
- (7) ドア内装の後ろ側の爪をドア内の受け口にはめ込みながら、前方から滑らせて押し込む。
- (8) ドアポケットとドアハンドルを取り付ける。

以上